

四條畷市教育委員会ニュース

内容：
家庭学習用教材に関するアンケート結果の概要（10月実施）

2年目を迎えた「家庭学習用教材」

〇子どもたちの家庭での「自学自習力」が向上してきた！

全国学力・学習状況調査の結果から、見えてきた三つの課題

- その1 言語活動の充実と言語力（読む・書く・聞く・話す力）の育成
- その2 学習意欲の向上
- その3 **生活習慣の改善と自学自習力の育成**

これまでの全国学力・学習状況調査の結果から、本市の子どもたちの学力や学習状況の課題として、この三つが明らかになっていきます。教育委員会・学校・家庭のそれぞれにおいて、これらの課題解決のため様々な取組みがなされてきました。その中で、三つ目の「生活習慣の改善と自学自習力の育成」のため、昨年度の小学校1年～3年から、今年度は1年～6年の子どもたちに家庭学習用教材を配布してきました。半年経過した10月、活用状況の把握と今後の指導の参考にするため、保護者の皆様にアンケートを実施しました。



1年～4年用教材

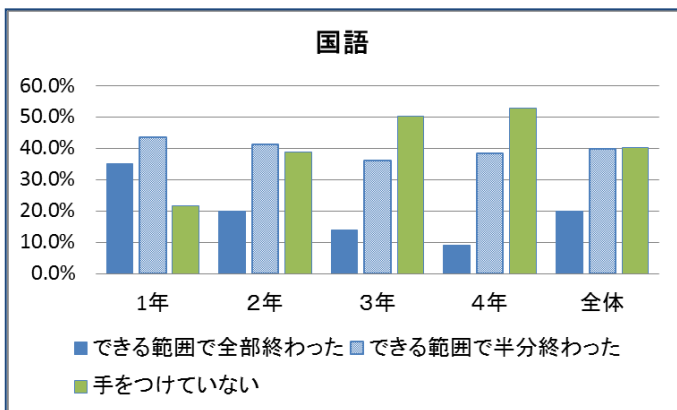


5年～6年用教材

ご家庭におきましては、今後も引き続きご家庭で活用いただき、発達段階に応じて子どもたちの自学自習力がさらに向上しますよう、よろしくお願い致します。

〇家庭学習用教材に関するアンケート集計結果（10月末現在）

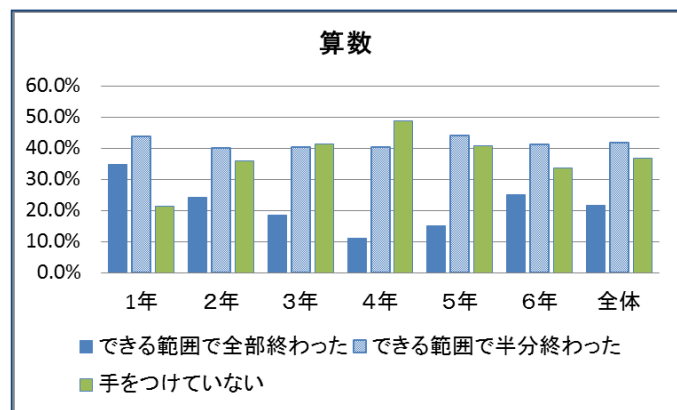
問 お子様の家庭学習用教材の現在の進み具合はいかがですか？



「できる範囲で全部終わった」割合は学年が上がるごとに、低くなり、「手をつけていない」は逆に学年が上がるにつれて高くなっています。

低学年ほど意欲的に取り組んでおり、保護者もしっかりと子どもの学習について把握されています。

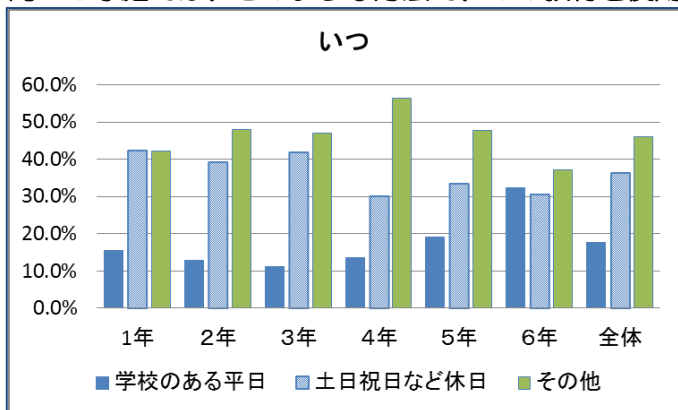
ドリルの内容が教科書の進み具合と違う面があり、長期休業中に活用、あるいはこれから活用という自由記述も多くありました。



国語と同じ傾向がうかがえます。しかし、5、6年生については、「できる範囲で全部終わった」が高くなっています。これは、①自主学習習慣が定着 ②教材が算数に限定したこと、教科書の教材に合っている ③学年・クラスで担任からの声かけなどの取組み等の理由が考えられます。

全体的には国語より活用の割合がやや高いことから取り組みやすさが伺えます。自由記述には、応用問題を望む意見もありました。

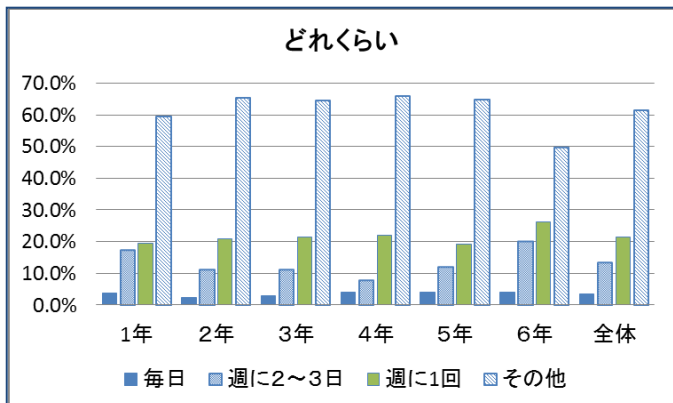
問 ご家庭では、どのような方法で、この教材を使用されていますか？



いずれの学年も「その他」が多数占めていますが、内容として、「長期休業中」「気が向いたとき」「時間があるとき」等がありました。

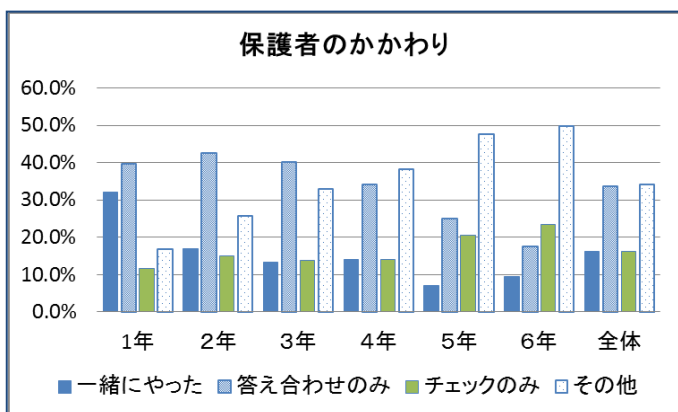
今回は配布時の保護者向けの案内に使用方法例を提示したので参考になっていると思われます。

5、6年生で「学校のある平日」の割合が高くなっていますが、上記と同様、自学自習の習慣化等が要因と考えられます。



「その他」を占める割合が高くなっていますが、内容は同様に大多数は「長期休業中」「気が向いたとき」「時間があるとき」の他「月に1~2回程度」や「手をつけていない」も含まれると考えられます。

自由記述からも「平日は時間がない」「学校や習い事の宿題、また通信教材等の教材使用のため余裕はない」等の意見が多くありました。



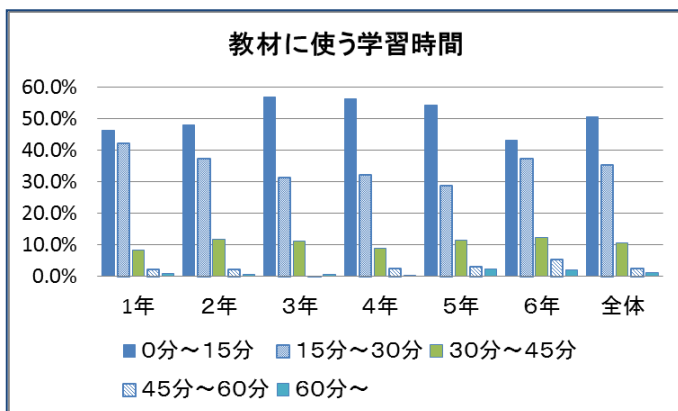
低学年ほどかかわりが大きい結果がうかがえます。特に1年生の「一緒にやった」割合が非常に高く、保護者の意識の高さが伺えます。

子どもの成長に伴い、かかわり方も変わりますが、低学年時期の保護者のかかわりの重要性について、今後も啓発の重要性が理解できます。

また、学年が上がるにつれて「その他」が増えていますが、「本人に任せている」と「活用していない」が考えられます。



問 お子様が、この教材に使っている時間はどれくらいですか？



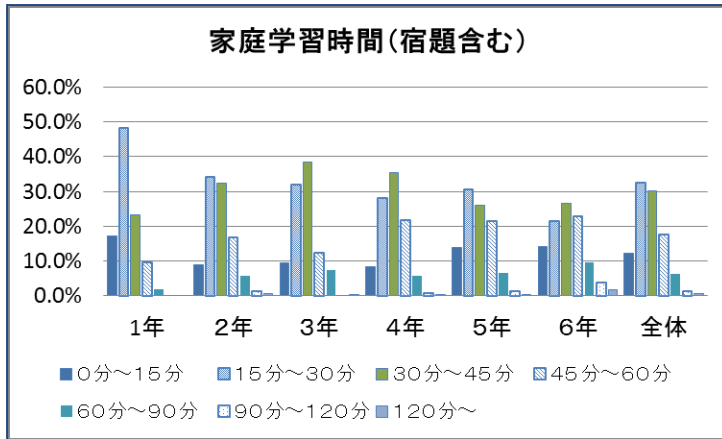
昨年度とは選択肢を若干変えましたが、同様な傾向がうかがえます。

教材に使う時間が30分までの割合が大多数を占めています。

学校の宿題による家庭学習の定着化と、この教材を活用することで家庭学習の習慣化が図られることを考えますと一定の成果が表れていると考えられます。



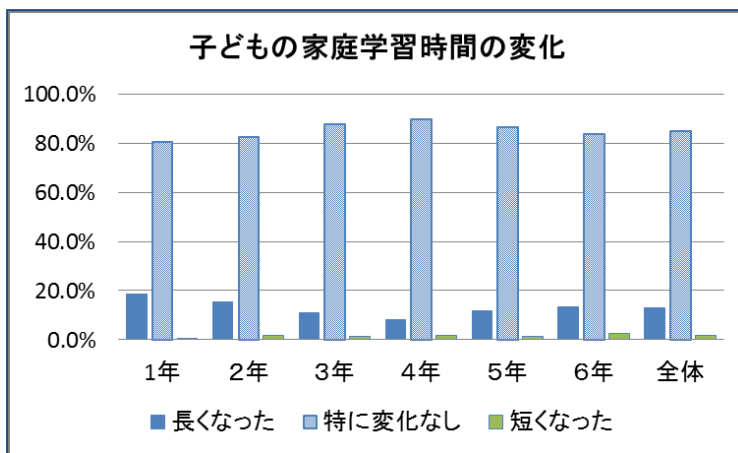
問 お子様が、いつもご家庭でどれくらいの時間学習されていますか？
 (宿題も含む。習い事や学習塾などの時間は除く。)



昨年度より改善傾向にあります。
 また学年が上がるにつれて、長い時間学習する割合が増えており、学年相応の結果が出ています。
 一方で、家庭学習の時間で高学年でも0～15分という児童も20%弱いることは課題と考えています。
 いずれの学年も児童の実態や宿題の量など現状についてさらに分析し、改善を図る必要があります。



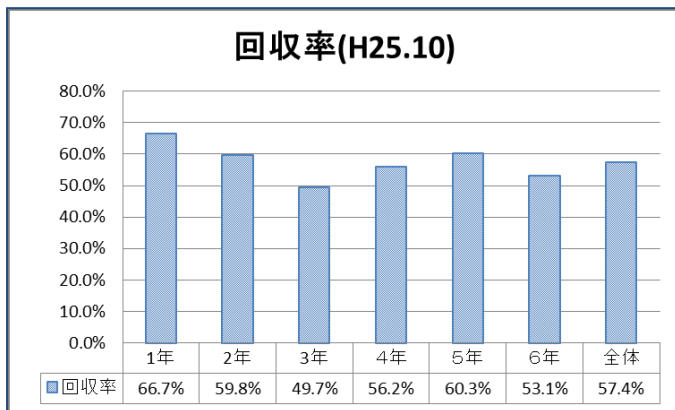
問 家庭学習用教材を配布してから、ご家庭でのお子様の学習の様子に変化はありましたか？



いずれの学年も「特に変化なし」が80%以上占める結果となり、昨年度と同様大きな改善には至っていません。
 しかし「長くなった」の割合は微増しています。
 自由記述において「学校からもらってきたものなので喜んで取り組んでいた」などの意見もあり、児童の意欲づけには少なからず寄与できているようです。



回収率(平成25年10月実施)



回収率はいずれの学年(昨年度は1～3年対象)も上がっており、学校での声掛けや保護者の皆様の意識の向上と考えます。
 しかし、集約の負担軽減と見え、マークシート形式を採用しましたが、①保護者が回答しにくい仕様となった点②印刷や回収後の用紙の状態の悪さのため読み取りに不具合が生じた点などで、結果、手計算となり先生方や保護者の負担となり、今後のアンケートの実施方法について、検討してまいります。

- 小学校1・2年生… 基本的な生活習慣を身につけることが大切です。
 「早寝、早起き、朝ごはん」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」「えんぴつを正しく持つ」「時間を守る」など基本的な生活習慣を身につけるよう声かけが大切です。
- 小学校3・4年生… 自ら学習に向かう習慣を身につけることが大切です。
 学校の勉強で習うことがいちばん多くなる学年です。新しく習った漢字や計算など毎日覚える習慣づけと、好奇心が旺盛な年齢でもあり意欲を引き出す声かけが大切です。
- 小学校5・6年生… 予定を立て、自力で学習を進めることが大切です。
 学校の宿題なども多くなる時期ですが、1人勉強など自分で課題を見つけて、追求する学習にもチャレンジすることが大切です。また、親子の会話に「人の生き方」に興味・関心を持つ年齢になり、伝記などの読書もすすんでいく時期です。